

人と自然が彩る

花のまち 日野



綿向山の姿を望み花を楽しめるのはブルーメの丘ならではありません。
10万本のチューリップが園内メインの花畑に咲きました

チューリップ

滋賀農業公園ブルーメの丘
(西大路)



駐車場からは色とりどりのチューリップが見えていて、こんなにたくさん見られるとは思っていませんでした。

一年を通して花を楽しむことのできる場所が滋賀農業公園ブルーメの丘です。平成9年4月19日にオープンし、今も多くの観光客が訪れています。家族がそろって訪れ、安心して楽しく遊べる施設であり、綿向山など日野町の自然を背景として素晴らしい景色が楽しめます。

ゴールデンウィークには、約5万人がブルーメの丘を訪れ、家族連れなど、花と遊びを楽しむ多くの人でにぎわいました。

自然が豊かな日野町。春から初夏にかけてはさまざまな花が咲き誇り、町が一齐に彩り豊かになります。町の花「ホンシャクナゲ」をはじめ、花の名所は町内に数多くあります。

ゴールデンウィークには、多くの観光客が町を訪れ、日野町は活気に満ちあふれました。ここでは、「花のまち日野」に関する皆さんの声やこれからの花の見所をお伝えします。

滋賀農業公園ブルーメの丘
これからの見頃

- 【バラ】 5月下旬～ 6月下旬
10月下旬～ 11月中旬
- 【ひまわり】 8月上旬頃
- 【黄花コスモス】
9月上旬～ 9月下旬
- 【コスモス】
9月下旬～ 11月上旬

☆これからの季節に合わせて
さまざまな花たちが咲き誇ります



京都から家族で来ました。
菜の花がすごくきれいです！

菜の花

牛舎を背景に、黄色のじゅうたんが広がる菜の花畑



◆滋賀農業公園ブルーメの丘

☎ 2611 有線 1166
ホームページ
<http://www.blumenooka.jp/>

しゃくなげ
石楠花

ホンシャクナゲ群落 (鎌掛)



孫と一緒に約20年ぶりに来ました。20年前とは少し雰囲気は違っていました。石楠花は大変きれいでした。

毎年4月下旬から5月上旬にかけて、ホンシャクナゲ群落には、大勢の観光客が訪れます。
高山植物である石楠花が低地に群生して生息していることは大変珍しく、昭和6年に国の天然記念物に指定されました。
今年も溪谷一面にたくさんの花が咲き誇りました。5月2、3日頃が見頃となり、シーズン中には約6千人の観光客が訪れました。



▲遊歩道からは、ホンシャクナゲを間近に見ることができました



▲皆さんの技術で美しい石楠花が会場を彩りました (最終日に集まれた会員の方のみ) 【日野公民館】

キラリ
人

ひのしゃくなげかい
日野石楠花会の皆さん

4月23日から25日までの3日間、日野石楠花会の皆さんが日野公民館で第13回日野石楠花展を開催されました。また、5月2、3日には、日野まちかど感応館で、石楠花展示会を開催されました。
石楠花の素晴らしさを広く伝えるため、活動を続けられている思いをお聞きました。

平成9年7月4日に、以前から石楠花展をされていた奥村三郎さんが中心となり、日野石楠花会が発足しました。奥村さんは、昭和56年に開催されたびわこ国体で大谷公園体育館に石楠花を飾られたときのメンバーでもあります。秋だったため、本物の石楠花の花を見ることができない中、紙で花を手作りし、奥村さんが育てられた石楠花の木に飾られたそうです。

このように石楠花との関わりが深い奥村さんは、財団法人滋賀県緑化推進会による石楠花の講習会に参加されました。会の発足から会員の山本良秀さんと相談し、そのときの受講生に声をかけられ、最初は9名で始められました。現在、会員は徐々に増えて27名になっています。

日野石楠花会では、年間4回の講習や県外研修、展示会などを行われています。講習では、石楠花の増やし方や剪定など、さまざま



▲5月3日の日野祭に合わせて、色鮮やかな石楠花が展示されました【日野まちかど感応館】

な技術を学ばれています。また、展示会では、「競技花」として、同じ苗を会員が一齐に持ち帰って育て、約3年かけて育てた石楠花の美しさを競い合われます。また、会員同士でアドバイスし合い、それぞれが丹精を込めて育てられています。澤村洋一郎副会長は、「高山植物の一種である石楠花は暑さに弱いので、低地で育てるのが難しい」と教えてくださいました。
会場には、日本石楠花や西洋石楠花が大変美しく咲き誇っていました。増田安吉会長は、「手塩にかけて育て上げたものを、皆さんに見てもらえることが意欲につながります」と力強く話されました。これからも、滋賀県の花であり、日野町の花でもある石楠花をもっと広く知ってもらいたいと、さらに活動を進められます。

藤 正法寺 (鎌掛)



5月上旬から中旬にかけて、鎌掛にある正法寺(藤の寺)は、大変美しい藤が咲き誇ります。樹齢300年を越える藤。花房が、長いものでは1mにもなります。

今年は寒い気候が続く、例年に比べると少し短かったようですが、5月9〜12日頃には見頃を迎えました。美しい藤を一目見ようと、5月1日から16日までの期間中には約7千500人の観光客が訪れました。



以前にも何度か来たことがあります。奈良から来ましたが、今日はお天気も良く、最高に美しい藤を見られました。

ボタン・シャクヤク 花の郷日野ダリア園 (鎌掛)



4月下旬から5月にかけて、鎌掛にある花の郷日野ダリア園では赤、ピンク、白などさまざまな色のボタン・シャクヤクで彩られました。

ボタンは、5月中旬に見頃を迎え、多くの観光客が訪れました。続いて5月下旬には、シャクヤクが見頃を迎え、長い期間にわたって大輪の花を楽しむことができました。



沖縄県から来ました。沖縄では、これほどきれいに咲いているボタンを見たことがなかったのので、大変感激しました。

これから見頃を迎えます さつき 雲迎寺 (音羽)

6月上旬から中旬にかけて、音羽にある雲迎寺は、境内いっぱい約1,000株ものさつきが咲き誇ります。通称「さつき寺」とも呼ばれています。その中でも、樹齢380年のさつきは高さ2mもあり、まるで「花の津波」のようです。



花の郷日野ダリア園 これからの見頃

【アジサイ】 6月下旬～ 7月中旬

【ダリア】 8月下旬～ 11月頃

【ムクゲ】 7月上旬～ 9月中旬

【サザンカ】 11月下旬～ 12月中旬

☆「花の王様」と呼ばれるダリアが100種類10,000本以上も咲き誇り、花の郷を彩ります。



◆花の郷日野ダリア園

☎⑤5651 携帯090-8823-2450

ホームページ

<http://hinodariaen.com/>

◆花の問い合わせ先

日野観光協会

☎⑤6577 有線⑥1320

ホームページ <http://www.biwa.ne.jp/hino-to/>

商工観光課 商工観光担当 ☎⑤6562 有線⑤8965

このように、日野町はたくさんの花で彩られています。伝統の花を守る人たち。新たに花の名所を作る人たち。各ご家庭の玄関先などで花を飾る多くの人たち。「花のまち日野」は、花を愛する人の手によって作り上げられています。これからも町のあちこちが花で彩られます。ぜひ「花のまち日野」を感じてください。